

# 坂井平野 - 水田地帯 -



水田の三番穂や雑草を食べるために飛来したマガンの群れ



九頭竜川沿いの湿った水田

選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）（マガン、オオヒシクイ）の繁殖地、越冬地、または旅鳥の重要な中継地点になっている</li> <li>・県RDB種が多種確認されている</li> </ul>
---------	---

県レッドデータブック掲載種数： 68種（面積約7,200ha）

自然の概要	九頭竜川河口の周辺に広がる水田には、開けた湿地を好む鳥類が飛来し、特に冬期は片野鴨池（石川県）をめぐらとするマガン、オオヒシクイにとって重要な採餌地になっています。また、ホウロクシギに代表されるシギやチドリ類など旅鳥の重要な休息地となっています。さらに、一帯の排水路には傾斜がほとんど無く、冬期も水が無くならないため、メダカなど流れの穏やかな水路を好む生物の安定した生息地になっています。
保全すべき主な環境	広い水田、小川（一年中水のある排水路）
もっと詳しく知りたい人へ	福井県のすぐれた自然動物編,p112 [坂井平野（渡り鳥の渡来地または中継地）] 福井県のすぐれた自然植物編,p106 [金剣神社の社叢林]

## 該当地の位置



### 里の生き物紹介 マガン（カモ目カモ科）

全長72cmの水鳥で、体は灰褐色、くちばしはオレンジ色で、くちばしの周りが白色です。福井県には、11月から3月までの間、冬鳥としてやって来ます。水田などに群れで訪れ、イネの落ち穂、二番穂、草などを食べます。しかし、警戒心が強いので、車や人がたくさんいるような場所にはあまり降りてきません。

## 保全すべき環境に生息・生育している生物



オオヒシクイ  
県域絶滅危惧 類  
主に、開けた水田地帯、河川、池沼も好む



マガン  
県域絶滅危惧 類  
広い水田や休耕田を好む



ホウロクシギ  
県域絶滅危惧 類  
海岸の砂浜、河口の砂泥地などの他、水田を好む



メダカ  
県域絶滅危惧 類  
池と沼、河川下流部の岸辺、水田とその用排水路に生息



コハクチョウ  
県域準絶滅危惧種  
湖沼・河口・内湾に見られ、二番穂のある水田等で採餌